

新会長に坪井さん

桐生仏教会「100周年へ準備進める」



桐生仏教会の2008年度総会が10日、桐生市本町四丁目の美喜仁寿司で開かれ、鳳仙寺(市内梅田町一丁目)の坪井良廣住職(顔写真)が新会長に就任した。同会では2010年の設立100周年の節目に向け、記念事業などを計画。坪井会長は「しっかりと準備を進めていきたい」と話している。

役員、大幅に若返り

仏教会の前身は1910年、当時の桐生町と周辺村落の寺院38カ所の住職が設立した桐生積善会。以来、宗派を超えた

つきあいを深めつつ、积いった計画を進める旨が確認された。花祭りや書道展、成道会、涅槃会(ねはんえ)といった催しは総会では事業計画案が

また、今回の新役員体制については会の後継者育成を考慮、地区理事や会計といった役に副住職を充てるなど、思い切った若返りを図った。なお、おもな役員は次のとおり。(敬称略、任期は2年)

- ▽会長 坪井良廣(青蓮寺)、橋本恵一(大雄院)、月門快憲(観音院)▽常務 菅原泰祐(東禅寺)▽常務補佐 坪井良行
- ▽会計 白石浩秋(普門寺)▽会計補佐 田中秀孝(養泉寺)▽常任理事 大澤正邦(文昌寺)、木間真右(長泉寺)、野口秀樹(大善寺)、佐藤憲秀(高園寺)、小林喜道(久昌寺)▽会計監査 小林静伸(天王院)、天利秀峰(西方寺)▽顧問 正和孝徳(祥雲寺)、野口善教(浄蓮寺)
- 桐生と足尾テーマ 26日に公開勉強会
- 桐生・世界遺産の会 (北川絃二郎代表)は26日午後6時~同8時半、第3回公開勉強会を開く。会場は市立北公民館で参加無料。
- 今回は「ユネスコ世界遺産と桐生・足尾」がテーマ。まず足尾銅山の世界遺産登録を推進する会会
- 長で、元足尾町長の神山勝次さんが講演。続いて桐生の課題や、桐生と足尾をつなぐ旧足尾鉄道(わたらせ渓谷鐵道)もふくめ、産業遺産をシステムとして登録する構想などの座談会を行う。
- 世界遺産に関心のある人なら自由に参加できる。問い合わせは事務局(無鄰館内、電44・0277)へ。